

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・事業所独自の介護理念はあるが、地域密着型としての理念を掲げていない、しかし地域の一員であると理解し生活に活かせるよう取り組んでいる</p>	<p>・本社経営理念:「私たちは、医療・福祉関連事業を通じて、良質で均一なサービスを提供し、地域社会の医療と福祉の向上に貢献することを使命とします。」経営理念を基本として地域に根ざす取り組みをしていきたい</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・事業所の理念を『心』とし「一人ひとりを思いやる心」「その方の今をやさしく見つめる心」を掲げ、職員自ら考えた介護方針を心に日々取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・理念を意識しているものではないが、常に家族には普通の家庭生活を生活を送れるようにしたいと話している。その為の協力をお願いしている。</p>	<p>・家族会を通して地域との関わりを話し合っ行ってきたい</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・建物の構造上玄関が奥まってしまっているの、なかなか気軽に立ち寄ることは難しいようであるが、庭越しで話をしたり散歩中挨拶を交わしたりとい付き合いができています。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・町内会に加入し班長も引き受けいる、回覧板に目を通し地域活動にも関心を持つようになっている</p> <p>・老人会・地域の運動会などにも積極的に参加している</p>	<p>・町内会の班長の任期が3月末で終わり、自治会の組織変更のため会社・施設等町内会への加入ができなくなるが、今後も運動会等の行事・地域活動は参加して行く</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる			・今後地域へ認知症をもっと知っていただけるよう、講習会や地域の方々へ介護相談等もやっていければと考えている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・2回実施しているがその都度改善すべき点は改善できるように取り組んできたし改善してきた		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議を行っている ・ホームのお年寄りは穏やかに暮らしているのに何を言えばいいのか、職員もよくやっていると思う。この会議の意義が分からないとの意見があった。 ・内部の問題は色々あると思うので(人手・研修)内部の問題が解決されてから会議を開いてはどうかとの意見があり、取り組んでいる		・行政・包括支援センターの参加いただけていない(多忙理由)今後呼びかけていく ・会議の形態を変えて開催を検討中(家族会・ホーム行事に参加等)
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・千葉市の担当者とわからないことなど率直に質問している ・千葉市認知症高齢者グループホーム連絡会役員をしているので懇談会とうで行政と話し合う機会を作っている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・職員は管理者が制度の存在を話す程度で、研修としては実施していない ・現在利用している方がいる、必要と思われる方の家族には管理者が説明しているが活用していない		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・研修に参加させている ・起こり得る虐待(身体・言葉)を計画作成担当者・主任を中心に職員教育に取り組み防止に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約時説明の途中、不明な点がないか確認を行い疑問等のないように分かりやすく説明している。契約終了後必ず不明な点が出てきたら説明をさせていただき旨伝えている。退居時は退居理由を事前に家族と十分話し合い納得した上で手続きを行っている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・職員は一人ひとりの様子見て何か思いがあるなど察した場合、会話の中で聞き出し、それを管理者へ伝え改善に努めている ・家族等にも不平・不満を聞いてあげてほしいと頼んでいる ・入居者が言いやすいよう会話を持つようにしている</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・暮らしぶりや健康状態など家族来訪時や電話でその都度報告をしている ・職員移動等については、家族会の集まりやさらにこ新聞等で報告している</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・意見、不満、苦情が言いやすいよう家族に接している、外部の機関は契約・重要事項説明書に記載し説明している ・第三者の窓口として地元有識者へ打診している</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・ミーティングや個別面接を設け聞く機会を設けている事業所単位で改善できることは反映させ、本社に挙げものは本社の事業所担当者に挙げ交渉している</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・入居者の状況に合わせ職員の勤務調整を行っている ・職員と話し合い必要な時間帯に配置調整を行っている</p>	<p>・配置基準の配置では認知症介護は難しく、個別支援どころではない、運営上の問題はあるが増員のため求人活動をしている</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・各ユニット職員は固定にしている、退職を考えている職員と留まれる方向性はないか話し合い離職者をなくすよう努力している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・定期的に所内研修を行っている ・人材育成を充実させるため、計画作成担当者と主任の業務を分けている		・主任がOJTを行い職員のスキルアップを目指す ・他のグループホームとの交流、研修ができる体制
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・千葉県認知症高齢者グループホーム連絡会に加入しており、役員にもなっている、会が開催している研修会や交流会へ職員を参加させている		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員の趣味や娯楽のための希望休はストレス解消に必要と考え極力取れさせている ・入居者から離れ休憩を取れるよう、休憩室を設けている		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員の勤務状況・実績に応じて非常勤職員 契約社員 正社員とステップアップできるようにしている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	・ホーム内の見学、面接をして話し合い、安心して生活できるよう本人の不安を聴いている ・本人の意向を尊重するよう職員に情報を提供し、共有することでその人なりの生活が送れるよう努力している		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	・面接をして家族の話に耳を傾け、共感し、受け止めている ・家族の意向を尊重するよう職員に情報を提供し意向に沿ったケアができるよう努力している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居者、家族の意向を踏まえた対応をしている ・本人のこれまでやってきた趣味活動、リハビリ等は家族と話し合い家族の協力を得て継続できるよう努めている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・体験入居から開始し、職員・他入居者・ホームに馴染んでいただけるよう心がけ、家庭の延長のような生活が送れるよう支援している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・職員は家族感覚で接しており、入居者の気持ちに寄り添い、人生の先輩として敬服する事も多く、共に支えあい穏やかな生活を営んでいる		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族の悩み・相談にも応じ、本人に状態変化があった場合必ず連絡を取り家族と共に本人を支えていく関係を築き上げている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・行事には家族も参加して頂き、本人と関わる機会を多くつくるようにしこれまでの関係を断ち切らないように努めている ・外出・外泊は自由で家族がホームに泊まったり、一緒に食事が取れる体制を取っている		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・手紙・葉書・電話などで関係が継続できている ・面会・外出の支援ができています		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・体操・口腔リハビリを毎日職員と入居者が一緒に行い関わっている ・孤立しないよう職員が間に入り支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・受け入れ先など紹介し、不安の無いような支援は行っているが退居後は本人が混乱起こす可能性があるため会いに行くなどの行為は行っていない		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人らしさを介護の基本に置き、常に一人一人の暮らし方の希望や意向を察するよう努め、それに沿った支援が心掛けられている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・センター方式の中のバックランド暮らしの情報(私の家族シート・私の生活史シート)基本情報(私の情報シート)を記入していただいています(該当者のみ使用他はホーム独自のバックランド・家族の希望箋使用)		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・見守り、会話、表情、動作などから把握し気づいたことは職員間で話し合っています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・管理者・主任・計画作成者が家族の意向や主事医の見解を整理し職員と話し合い具体的な計画を作成している		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・必要に応じて計画が変更・継続されています。変更時には家族と話し合い又は連絡し同意を得ています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日生活記録を記入し、連絡ノートを活用しています ・朝・夕の申し送りで情報を共有している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・病院の受診支援・冠婚葬祭の支援を行っています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・家族による週1回のウクレレ演奏・地域の方の不定期ではあるがハーモニカ演奏・小学生の体験学習の受け入れ・消防による定期点検		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・他のサービスは運営上利用していない		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域包括支援センターとの協働はしていない		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・要望にそった通院支援と共に、通院が難しくなった入居者には主治医の往診を依頼している ・疾病、状態に応じ医療機関の使い分けをしている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・月に1度、認知症に詳しい医師の受診を受けている</p> <p>・状態により検査を受け症状に合わせた治療をおこなっている</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・訪問看護ステーションと医療連携体制を整えており、健康管理や医療面での支援が整っています</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・管理者が病院のソーシャルワーカー、医師、家族と情報交換を行ってできるだけ早期に退院できるよう努めている</p> <p>・入院時は寂しくないよう、職員が交代で見舞い行き元気づけ安心して療養できるようにしている</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・重度化した場合、早期に終末期を何処で送り、看取るかを家族と話し合う(病院・療養型・ホーム)。ホームで最期までと希望された場合、家族の思いを優先に主治医と相談し医療、介護の方針を職員全員で共有し、本人の不安、恐怖を軽減できるよう努める(主治医・家族・職員の協力により1名の入居者を昨年看取っている)</p>		<p>・ターミナルケアマニュアル作成する予定(進行形)</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・孤立しないよう体調が良いときは他入居者と一緒に過ごして頂くなど、寂しくないよう、不安にならないような声かけを行い家族と共に支援している</p> <p>・医療面では主治医による往診、急変時の連絡体制は確立されている</p> <p>・ホームの「できること・できないこと」を家族へ明確にしている</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・管理者が家族と話し合い、本人に良いと思われる受け入れ先の情報提供と紹介をしている</p> <p>・本人が受け入れ先でスムーズに生活出来るよう情報提供している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・一人ひとりのプライドを傷つけないよう声掛けを心がけている、名前はその方の希望や反応で呼び方を変えているが“チャン”付けのような呼び方していない、記録等の取り扱いについても注意している(ファイルを出したままにしない、入居者の目が届かないよう記録をとる)</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ご本人の意思確認を行い出来ない事や、やりたくない事を無理にさせず、納得していただける様に声掛け等を行ながら支援している</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・一人ひとりのペースに合わせてゆったりと一日を過ごしていただいている ・個別に希望を聞き出し希望にそった支援を行っている</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・ご家族の協力を得て、ご本人の望む店にいけるよう支援している ・訪問美容師はこちらの希望する日に訪問してくれ、カットだけではなく、カラー・パーマも本人の希望に沿って施術してくれる ・男性は髭剃りを促し、自分でできるところはやっていただき、不十分なところは職員が補い身だしなみには注意している ・女性はアクセサリや化粧、マニキュアのおしゃれを楽しんだりしている</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・テーブル等拭いていただいたりし、職員と利用者が一緒に行えるよう支援している</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・たばこは決まった場所で好きなときに吸えるようにしている(火災の危険があるため煙草の管理は職員が行っている) ・お酒等本人の希望にそって飲めるよう様、家族の了承を得て支援している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・表情等をよく観察、排泄パターン(記録により)理解し、サインを見逃さないよう、できるだけ失敗しないで気持ちよくトイレで排泄出来る様支援している		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・ご本人の意思を元に安全に入浴出来る様支援している ・職員の手薄な時間帯があるが、本人に説明し納得していただき入浴している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・睡眠ペースの把握をし、気持ちよく休息出来る個別対応を行っています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・カラオケ等を行い、一人ひとりが張り合いや喜びのある日々を過ごせる様支援している ・外出(ドライブ)等、外へ出る機会を増し、気分転換を図っている ・以前からやっていた習い事などは継続できるよう、家族にも協力していただき行っている		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・家族の協力を得て一人ひとりが好きな時、好きな物を買える様支援している ・買い物に出掛けた際、できる方にはご自分の小遣いより支払いを行っていただいている		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ドライブ、散歩等を行い地域の交流を深め一人ひとりの希望にそって外出出来る様支援している		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・家族の協力を元に本人の行きたい場所へ行ける様に支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話・手紙を利用し自由に連絡がとれる様支援を行っている		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・いつでも気軽に訪問でき、馴染みのある人達と居心地よく過ごせる様な工夫をしている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・本人の行動を抑制をせず、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中出入りが自由に出来る様、鍵はかけないケアに取り組んでいる ・徘徊、帰宅願望による無断外出には職員が連携し見守り、出た場合は職員が着いていく取り組みをしている		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員同士の連携することで、入居者の動きを把握し安全に行動できるようにしている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・危険なものは鍵のかかる場所に保管し、注意が必要な物は職員が必要に応じ出し入れする管理をし、すべて排除するのではなく、できるだけ普通の家庭に近い状態で生活できるような取り組みをしている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・勉強会、カンファレンスを開き一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・勉強会等を開き、職員一人ひとりが対応できる様行っている		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・ホーム内では避難経路、誘導方は話し合っている		・隣接する協力診療所の非難協力の連携ができるよう取り組んでいく
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・契約時に起こり得る危険性について説明を行い理解を得ている ・個々の状態変化による危険性は個別に家族へ管理者が説明を行いリスクを抱えながらも、その人なりの生活を支えるための対応を家族と話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日、午前必要に応じ午後バイタルを測定し、少しの変化も見逃さず、またそれを職員全員に報告観察している ・協力診療所の訪問看護ステーションと医療連携体制をとり、週2回体調管理を行い、様子がいつもと違うと気付いた場合訪問看護師へ相談し速やかな対応を行っている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員一人ひとりが情報を共有し服薬の支援と症状の変化を確認できる様努めている		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・医師・訪問看護師と医療連携をとり便秘の原因や及ぼす影響を理解し、体操などを毎日行うことにより体を動かす工夫や、飲食物の工夫等に取り組む必要に応じ援下剤を使用している		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・一人ひとりの力に応じ歯磨き支援を行っている、自分で歯磨きのできない方にはガーゼ等を使い、口腔内の清潔保持に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食材会社を利用し専属の管理栄養士が作った栄養を考えたメニュー沿い調理をしている、水分量が確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・勉強会等を開き、職員一人ひとりが予防や対応を理解し、実行している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食中毒の予防の為、調理用具等、毎日塩素系漂白剤等に漬け置きし、食器乾燥機による高温乾燥行うなど衛生管理している、安全な食材の使用と管理に努めている、また残りものは保存せずその都度廃棄している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関に花壇づくり、椅子を置きいつでも座ることができ、安心して出入りが出来るようにしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・リビングテーブルに季節の花を活ける事により季節を感じられるよう、移り変わる季節を感じられるよう窓のカーテンを開け中庭の景色を楽しめるようにしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファや畳スペースを作る事により思い思いに過ごせる様な場所を作る様工夫している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・家族に本人が使っていた食器(茶碗・湯のみ)を持参していただいている、居室には今まで本人が使っていた物(筆筒・寝具等)を持参し本人が居心地よく過ごせるよう家族と相談している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・入居者の状況に応じ空調はこまめに温度調節を行っている ・冬場は乾燥に配慮し加湿器しようしている ・臭いが籠らないよう換気扇を使用し調整している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、トイレ、浴室に手すりを取り付け安全に立位・歩行ができるようにしている ・廊下手すりを利用し立ち上がりなど機能訓練をしている ・車椅子使用者が安全に通行できるよう廊下の幅を広く取っている		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・トイレ等の場所に花を置いたり、明かりをつけなど混乱なく自立して暮らせる様に工夫している		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関にはスロープがあり、車イスの方でも安全に外出ができるようにしている、車イスの方がウッドデッキから中庭には出られるよう簡易スロープを用意し庭の花々を楽しめる工夫をしている		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 入居者様にとって最終の場と考えており、笑顔で最期を迎えられるよう一日一日を大切に心のこもったケアを心がけている。
- ・ 家族とのつながりを大事にし、相談・要望を話しやすいよう家族的に接している